

社内技術の特許化

概要:

板金部品加工と板金金型設計製造を得意技として請負事業を手掛けてきたこの企業は卓越した製造技術により成り立っている。従来よりこれらの技術は製造方法が故にノウハウとして外部公表を避けてきた。

今回それらのすぐれた技術を保有していることを外部にアピールし受注に結びつける「**知財活動による効果**」を期待して、一部の技術について特許権を取得することを志向し、知財総合支援窓口で支援した。

具体的には製造工程におけるプロジェクション溶接の改善に関わる技術の特許化すべく出願を完了した。

支援者:

(窓口担当) 伊藤 哲三
(専門家) 松下 浩二郎
〔弁理士〕

知財活動による8つ効果:

- ① 無形資産を“見える化”する
- ② 無形資産を“財産化”する
- ③ 競合者間における競争力を強化する
- ④ 取引者間における主導権を確保する
- ⑤ 創意工夫を促進し社内を活性化する
- ⑥ 顧客の安心を保障する
- ⑦ 自社の強みを外部に伝える
- ⑧ 協力関係をつなぐ

※出展:「知的財産経営プランニングブック」特許庁

支援先企業:

株式会社中沢工業所(高崎市)

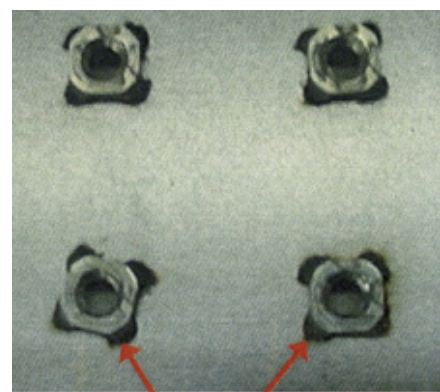
<http://www.nexus-n.co.jp/top.htm>

技術概要:

板金にナットを溶接するプロジェクション溶接では溶接後に発生するスパッタ(汚れ)を品質上少なくするため、油を多量に使いかつ工程を増やして対応してきた。

中沢工業所においてはその作業環境改善と工程数削減を図るべく試行錯誤を繰り返し、エア圧力を使用し、工程を簡素化した独自の技術を開発した。

溶接スパッタ減少技術



汚れ・スパッタ減少